小原 文衛

学長補佐（教育・国際交流担当）・教授
博士（文学）
Bunei Kohara
bunei.kohara@komatsu-u.ac.jp

映画で理解するアメリカ文化・アメリカ先住民の歴史

研究 Keyword　英米・英語圏文学、アメリカ文学、映画研究

プロフィール
1994年　金沢大学大学院 文学研究科 英文学専攻 修士課程 修了
1994年　金沢大学 文学部 助手
2009年　金沢大学 人間社会研究域 歴史言語文化学系 准教授
2018年　公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 准教授
2021年　公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 教授

研究分野
アメリカ映画、精神分析、アメリカ文学

所属学協会
日本映画学会、日本映像学会、日本アメリカ文学会

専門分野・研究分野

アメリカ映画を統合的な方法で研究し、その深層にある政治的・歴史的・心理的な意味を探り、アメリカという集団意識を解明する。

映画研究には、大別すると、映画技法論に関する研究、映画の物語構造に関する研究、映画を社会的なコメンタリーととらえ、その深層にある政治的主張・歴史学的な意味を読み取ろうとするコンテクスト研究があります。ここに映画と映画の関係を考える映画史的な研究及びジャンル研究と心理学的な研究を加えることができますが、私は、こうした多様な映画研究の方法を統合して、アメリカ映画に内在する意味を様々な角度から明らかにすることに取り組んできました。これは同時に、映画というメディアが、社会・文化にとってどのような表現機能を果たしているのか、というより一般的な問いの解決にもつながっていきます。

研究内容

アメリカ映画における〈籠城〉のモチーフの歴史学的・心理学的・政治学的な意味の解明

アメリカ映画に頻繁に登場するモチーフとして〈籠城〉のモチーフがあります。攻囲や籠城は中世に起源をもつ極めて西洋的な戦法ですが、D.W. グリフィス監督『國民の創生』(1915) から西部劇、戦争映画、ジョージ・A・ロメロ監督『ナイト・オブ・ザ・リビングデッド』(1968) などのいわゆるゾンビ映画というホラーのサブジャンル、ジョン・カーペンター監督『要塞警察』(1976) からチャン・イーモウ監督の米中合作『グレート・ウォール』(2016) に至るアクション映画、あるいはクリス・コロンバス監督『ホーム・アローン』(1990) のようなコメディ映画のなかに、ジャンルを超えて、様々に形を変えて現れています。私の研究では、西部劇におけるアメリカ先住民と植民者との攻防を籠城モチーフの意味論的なテンプレートとして上記のような映画群の統合的な分析を行い、〈新大陸発見〉・インディアン戦争における暴力の記憶が映画の中に「アレゴリー」として出現することを実証的に示してきました。これは共同体の無意識にとって、「語りえぬものを語る」ことができる映画がどのような機能を果たしているのか、という研究につながっていきます。

図. 名古屋大学にてゾンビ映画とアメリカ文学の関係性について講演

シーズ・地域連携テーマ例

- アメリカ映画を活用した英語教育とメディアリテラシーの養成
- 映画上映会の企画，コメンタリー

受賞

- 第3回金沢大学英文学会奨励賞（1999年11月）

論文

- ヘミングウェイからタランティーノへ―身体／武器の系譜学，ヘミングウェイ研究，第24号，75-86，2023.
- ゾンビの詩学――〈追跡〉と〈籠城〉のモチーフについて，IVY，第49号，67-88，2016
- 映画と精神分析，日本英文学会会報，37，2-4，2013
- JAWS（1975）の〈欲動〉論，金沢大学歴史言語文化系論集　言語・文学篇，第5号，31-46，2013

書籍等出版物

- 『メディアと帝国』宗形賢二、塚田幸光、中垣恒太郎、中山悟視、細谷等、小笠原亜衣、小谷一明、髙村峰生、池末陽子、村上東、河田英介、大田信良、小鳥遊書房、2021年
- 『映画とジェンダー／エスニシティ』，塚田幸光，清水知子，小原文衛，吉村いづみ，山本佳樹，羽鳥隆英，キンバリー・イクラベルジー，鈴木繁，久保豊，紙屋牧子，ミネルヴァ書房，2019年
- 『路と異界の英語圏文学』，森 有礼，小原 文衛，土屋 陽子，社河内 友里，塚田 幸光，C・J・アームストロング，細川 美苗，矢次 綾，小林 英里，杉浦 清文，大阪教育図書，2018年
- 『精神分析と物語』，小原文衛，松柏社，2008年
- 『国際学への扉――異文化との共生に向けて』，倉田徹，粕谷雄一，古畑徹，小原文衛，梶川伸一，斎藤嘉臣，村上清敏，和泉邦子，山本卓，大藪加奈，石黒盛久，深澤のぞみ，清水邦彦，風行社，2008年

講演・口頭発表等

- “Interopticality in JAWS and Godzilla”，国際共同研究プロジェクト“Dark Modernity: Modernism to Film Noir from East to West”，シンポジウム 2024年12月
- George A. Romero と〈西部劇のパラダイム〉――先住民虐殺表象としての　Night of the Living Dead（1968）日本アメリカ文学会第60回全国大会シンポジウム「〈ホラー〉の機能――恐怖のフィクションは〈アメリカ〉の何を表象するのか」，2021年10月
- ホラー映画の〈意味〉―ジョージ，A・ロメロ監督作品のサブテキスト，2018年度　金沢英文学会総会，2018年12月
- ゾンビ・ローカリズム／グローバリズム―George A. Romero の リヴィング・デッドと籠城のモチーフ，日本英文学会中部支部第 68 回大会シンポジウム「The Dead Walk! ―ゾンビと映画／文学のクロスオーバー」，2016年10月

競争的資金等の研究課題

- 科研費（基盤研究C）採択（課題番号21K00394：研究課題名「ホラー映画の深層に抑圧された〈先住民への暴力〉の歴史の解明によるアメリカ史の革新」）2021年～2023年